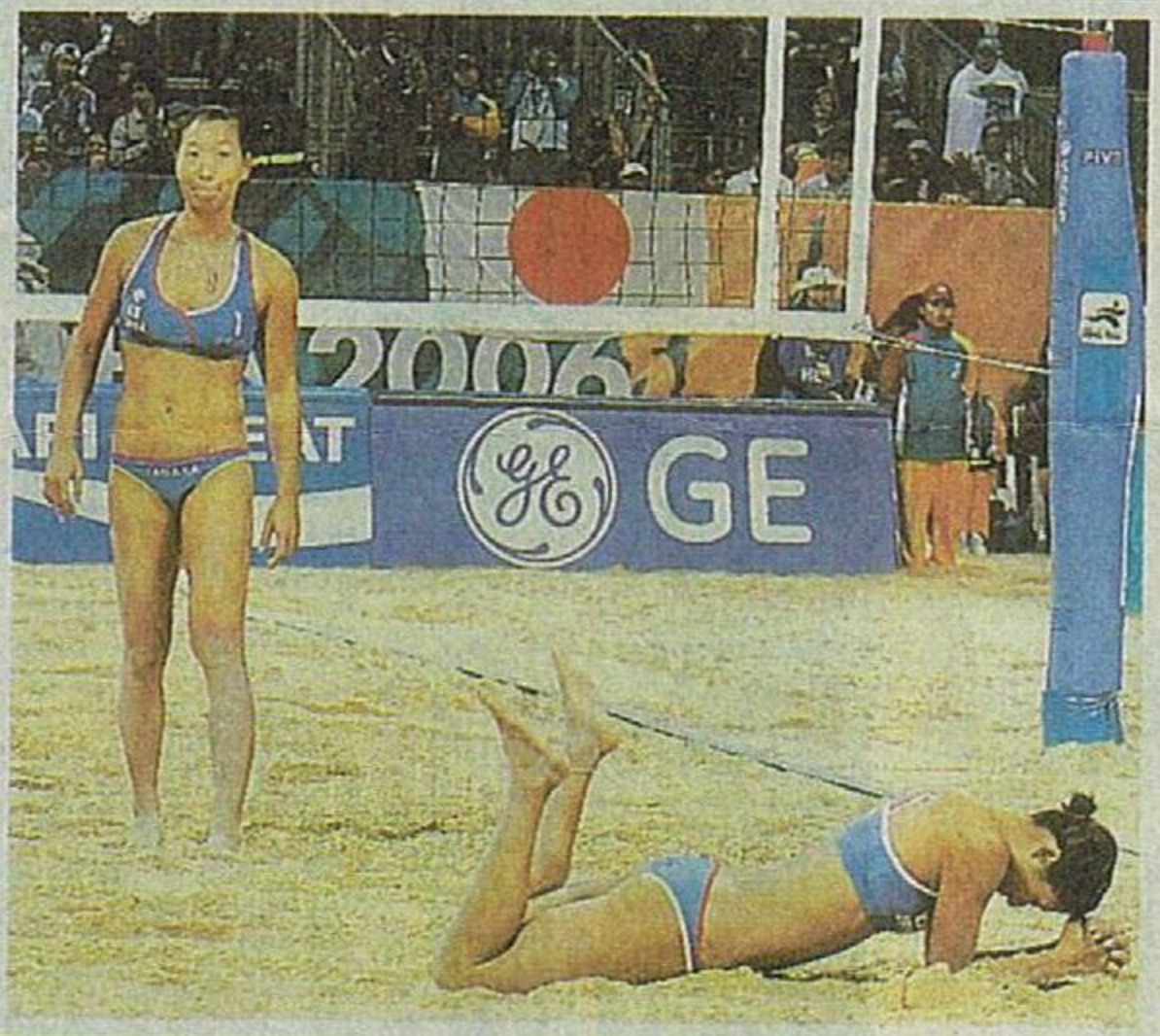
銀にも「手応え」ビーチバレー

バレーボール

惜敗だった。日本女子として初の金メダルを狙った田中、小泉組はミスに泣いた。

第3セット。7―7から小泉がサーブミス。続くポイントは田中がスパイクをはずした。15点制の最終セットで重い2点差がついた。「いい展開だったのに痛かった」と田中は悔やんだ。

相手は3回戦で一度下した世界ランク3位のペア。平均身長で約15チセン低い同35位の日本ペアは、前回同様にしつこいレシーブでミスを誘おうとしたが、勝負どころで先にミスが出てしまった。



ビーチバレー女子決勝で、中国に敗れた田中姿子（左）、小泉栄子組＝時事

2人ともかつてはVリーグで戦った。田中は02年釜山大会のバレーボールで銅メダルも獲得した。だが「正選手じゃなかった前回は自分で取った手応えはなかった。今回は実感がある」。銀でも日本女子としては2大会ぶり。小泉も「中国に手の届くところに来たと思う」。五輪出場権がかかる来春からのワールドツアーに弾みとなる結果だった。（岡田健）

「最悪の状態」4強逃す

懸命に声を張り動かない。石島やちがコートから伝顔をしかめて代弁ちはつくれるが、かなかった」

世界選手権で8レーボール男子日度優勝したアジア4強入りを逃した。

センターの山村く布陣。同様にひ斎藤の速攻に本来い。跳躍力が落ちを決めきれずブロ循環。セッターの阿ビが合わなかった